

令和元年6月21日現在

機関番号：12701

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2015～2018

課題番号：15H03215

研究課題名(和文)EPA介護福祉士候補者に対する専門用語学習の支援環境の構築

研究課題名(英文)Creating a Supportive Environment for Learning Terminology for EPA Care Worker Candidates

研究代表者

中川 健司 (NAKAGAWA, kenji)

横浜国立大学・国際戦略推進機構・教授

研究者番号：20382830

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,100,000円

研究成果の概要(和文)：介護専門用語の習得は国家試験の内容理解の基礎をなすが、その学習の大半は施設での就労開始後に行われ、適切な学習計画を立てて進めることが難しい。本研究では効果的な学習支援を目的として介護用語学習支援ウェブサイト「かいごのご!」において下記の～の機能の開発を行った。国家試験に頻出する介護用語とその語の訳語、解答結果に応じて出題内容が変わる理解度確認Webテスト、解答記録をグラフ化することによる学習状況の保存と可視化、候補者が指定した人たち(支援者や他の候補者等)との学習状況の共有

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究で構築した介護用語学習支援ウェブサイト「かいごのご!」とその仕組みは、EPA介護福祉士候補者の介護用語学習を学習管理を含めた形で支援するものである。費用面や人材面から支援者による直接的なサポートが得にくい施設はもちろん、支援者によるサポートがある施設であっても、候補者に合わせた支援を行うための基礎資料として本サイトのデータが利用できるため、本サイトは有力な支援のツールとなりうる。

研究成果の概要(英文)：Learning the terminology for care workers is essential to understand the content of the national care worker exam, but most of the learning is done after the start of working at a facility. Therefore, it is difficult to formulate and proceed with an appropriate learning plan. In this study, to provide effective learning support for EPA care worker candidates, we have developed the following functions on "Kaigonogo!", a website intended for supporting terminology learning for care workers. 1)Terms that are frequently encountered in the national care worker exam and their translations, 2)Online comprehension test in which the questions vary depending on the test answers/results, 3)Storage and visualization of learning status by graphing answering records, 4)Sharing learning status with people selected by the candidates (supporters or other candidates)

研究分野：日本語教育

キーワード：介護福祉士国家試験 介護用語 学習支援 自律学習 介護福祉士候補者 学習支援ウェブサイト

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

EPA (経済連携協定) に基づく、インドネシア、フィリピン、ベトナム出身の介護福祉士候補者 (以下、候補者) は、介護福祉士国家試験 (以下、国家試験) に合格することを求められているが、2014 年時点でその合格率は 40% 弱であり、全体の合格率の 60% 強と比して、20% 以上も低い。国家試験の合格には、介護分野の専門知識が不可欠であり、介護専門用語 (以下、介護用語) の習得が成否を分けると考えられる。国家試験で用いられる漢字のほぼ 8 割が、旧日本語能力試験の 2 級以上 (級外、1 級、2 級) の漢字であり、候補者には高度な漢字知識が求められる (中川 2010)。また国家試験では、全体の約 3 分の 2 の問題でカタカナ語が用いられており、それには英語以外の語源のもの、和語や漢語由来のもの、和製英語等が多く含まれる。このことも、国家試験の内容理解の難しさに影響を与えている (中川・齊藤 2014)。加えて、介護用語学習の大部分は、候補者が日本語研修を終え高齢者福祉施設等 (以下、施設) に配置された後、自律学習の形で行われる。候補者は受験資格を得るまで 3 年を超える自律学習を余儀なくされ、その間の学習へのモチベーション維持が課題のひとつとなっているが (布尾 2013)、そのための環境は必ずしも整っているわけではない。介護用語習得を含めた国家試験に向けた学習上の問題点として、以下の 4 つの点が挙げられる。

1. 組織的な日本語・専門学習は来日前の半年、来日後の半年の計 1 年間のみであること
2. 施設配置後の候補者に対する学習支援の質は、受け入れ施設ごとに差が大きいこと
3. 候補者に対して学習支援を行う支援者 (施設研修担当者や日本語ボランティア等) には、候補者育成の経験やノウハウが十分蓄積してないこと
4. 国家試験受験向けの介護用語学習に適した日本語教材が少ないこと

このような学習環境を考えると、国家試験受験に向けた介護用語の知識の習得を、候補者の力だけで進めることは非常に困難である。

### 2. 研究の目的

本研究は、EPA (経済連携協定) 介護福祉士候補者に対する学習支援の質を高めることを目的に、学習 Web サイトを開発し、その効果を検証するものである。本サイトは、語彙教材・確認テスト・学習管理の大きく 3 つの要素で構成され、学習支援環境を構築する柱となる。介護専門用語の習得は国家試験の内容理解の基礎をなすが、その学習の大半は施設での就労開始後に行われ、適切な学習計画を立てて進めることが難しいのが現状である。本サイトによって、候補者は介護用語を学び、その理解度を測るとともに、自身の学習状況を施設の支援者や他の候補者とも共有することができるため、必要な支援を受けやすくなることが期待される。

### 3. 研究の方法

我々の研究グループでは「1. 研究開始当初の背景」の特に 4. の問題を解決するため、これまで教材の開発・提供を行い、漢字学習 Web サイト「介護の漢字サポーター」は、候補者の日本語能力や学習環境にに応じて、柔軟に国家試験に出現する漢字語彙を学べる教材となっている。しかし、たとえ教材が充実していても、学習管理が適切に行えなければ、効率的かつ継続的な学習は難しい。施設によっては、候補者に対する専任教師の雇用や、日本語教師の定期的な訪問、あるいは通信教育による支援を行うところもあるが、コスト等の問題も大きく、全ての施設にそれを求めるのは現実的でない。3. のように学習の専門家がない環境では、学習管理は候補者自身の自律学習スキルに依存することになってしまい、全体として安定的な学習成果は望めない。

そこで本研究では、よりよい支援環境の構築のため、学習管理の一部を Web サイトに担わせる。これにより、学習の専門家のチェックやアドバイスが十分に受けられない環境であっても、候補者が自身の学習状況を管理でき、状況に応じて最適な学習計画を立てられるようになる。本研究で開発予定のサイトは主に以下の内容を提供する。

国家試験に頻出する介護用語とその語の訳語

解答結果に応じて出題内容が変わる理解度確認 Web テスト

解答記録をグラフ化することによる学習状況の保存と可視化

候補者が指定した人たち (支援者や他の候補者等) との学習状況の共有を可能にする

### 4. 研究成果

- 1) 「かいごのご！」の学習者機能の開発および試験運用開始：上記の「3. 研究の方法」で述べた ~ の機能の開発を完了し、「かいごのご！」の試験運用を開始した。希望者はだれでも専用サイトにてアカウントを開設し、一定期間実際の「かいごのご！」を試せるようにした。
- 2) 介護用語学習支援サイト「かいごのご！」のデモ発表：日本語教育学会春季大会、同支部集会「交流ひろば」、看護と介護の日本語教育研究会「教材広場」、日本語教育振興協会日本語学校研究大会において「かいごのご！」のデモ発表を行い、日本語教育関係者、介護福祉関係者と意見交換を行った。
- 3) EPA 介護福祉士候補者とのネットワーキング：首都大学オープンユニバーシティ介護の専門日本語講座を受講している EPA 介護福祉士候補者を対象に「かいごのご！」の説明会を行った。

候補者には実際に「かいごのご!」を使用してもらい、フィードバックを得た。

4)学習支援者とのネットワーキング：首都大学オープンユニバーシティ介護の専門日本語講座説明会および、ふじのくに EPA ネットワーキング定例会議において、EPA 介護福祉士候補者を受け入れている施設担当者を対象に「かいごのご!」の説明会を行った。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 9 件)

The Kanji Learning Website for EPA Care Worker Trainees, "Kaigo-no-Kanji Supporter" (Learning Support for Kanji Vocabulary in Caregiving Field)

Kenji Nakagawa, Yosuke Hashimoto, Hokuto Sunami, Mami Saito, Katsuichiro Nunoo, Ai Nomura  
5(1) 1-12 2018 年 5 月【査読有】

「日本語教育における学習ウェブサイト開発の課題 どうすれば有用な協働作業の場を作ることができるか」

中川健司, 角南北斗

『ときわの杜論叢』 5(1) 16-29 2018 年 3 月【査読有】

「福祉分野と日本語教育分野の協働による介護福祉用語集作成の試みを通じて」

宮本秀樹, 中川健司, 中村英三, 山岸周作

『人間科学』 35(2) 77-83 2018 年 3 月【査読無】

「専門日本語の語彙研究を教育現場につなげていくためには何が必要か」

中川健司

『専門日本語教育研究』 19(1) 11-18 2017 年 12 月【依頼原稿】

「漢字学習ウェブサイト『介護の漢字サポーター』で扱う介護専門用語の有効性の検証」

中川健司

ときわの杜論叢 (3) 66-79 2016 年 3 月【査読有】

「介護福祉士国家試験カリキュラム変更に伴う使用語彙の変化に関する調査」

中川健司

『専門日本語教育研究』 17(1) 53-58 2015 年 12 月【査読有】

「外国人介護福祉士候補者にはどのような学習支援が必要か？ 学習支援ウェブサイト「介護の漢字サポーター」「介護のことばサーチ」開発の試み」

中川健司, 中村英三, 角南北斗, 齊藤真美, 宮本秀樹, 布尾勝一郎, 山岸周作, 橋本洋輔, 野村愛

『地域ケアリング』 76-79 2015 年 11 月【査読無】

新旧カリキュラム介護福祉士国家試験の使用漢字の比較対照

中川健司

『ときわの杜論叢』 2(1) 41-53 2015 年 9 月【査読有】

「外国人介護福祉士候補者の定着問題について～主として新聞報道を通じて～」

宮本秀樹, 中川健司, 中村英三, 山岸周作

『コミュニティ振興研究』 21(1) 157-169 2015 年 9 月【査読無】

〔学会発表〕(計 18 件)

やさしい日本語を用いた介護専門語彙学習教材の開発

布尾勝一郎, 中川健司, 野村愛, 奥村匡子

2019 年度日本語教育学会春季大会 (つくば国際会議場) 2019 年 05 月 26 日 日本語教育学会

介護の日本語教育の教材に関する分析と考察

中川健司, 角南北斗, 布尾勝一郎, 野村愛, 宮本秀樹, 中村英三

第 26 回日本介護福祉学会大会 (桃山学院大学) 2018 年 09 月 01 日 日本介護福祉学会

web を活用した専門語彙学習支援～介護用語学習サイト開発の実例から～

中川健司 [招待有り]

筑波大学 CEGLOC 日本語・日本事情遠隔教育拠点 講演会「Web ツールを活用した語彙学習」  
(筑波大学) 2018 年 06 月 09 日 筑波大学 CEGLOC 日本語・日本事情遠隔教育拠点

語彙リスト生成システムの開発と日本語授業での活用

角南北斗, 野村愛, 中川健司, 齊藤真美, 布尾勝一郎, 橋本洋輔

2018 年度日本語教育学会春季大会 (東京外国語大学) 2018 年 05 月 27 日 日本語教育学会

技能実習,介護の制度設計上における日本語教育支援にかかる諸課題について~高齢者福祉施設以外の実習施設を視野に入れながら~  
宮本秀樹,布尾勝一郎,中村英三,中川健司,野村愛  
看護と介護の日本語教育研究会第15回例会 研究発表会 (首都大学東京) 2018年03月23日  
看護と介護の日本語教育研究会

外国人技能実習制度,介護にかかる「日本語教育」論議について~国会会議録を通じて~  
宮本秀樹,布尾勝一郎,中村英三,中川健司,野村愛  
第25回日本介護福祉学会大会 (岩手県立大学) 2017年10月01日 日本介護福祉学会

介護用語学習アプリ『かいごのご!』の機能設計の妥当性について  
中川健司,角南北斗,布尾勝一郎,野村愛,宮本秀樹,中村英三  
第25回日本介護福祉学会大会 (岩手県立大学) 2017年10月01日 日本介護福祉学会

介護福祉士候補者のための介護用語学習支援ウェブサイト『かいごのご!』  
中川健司,角南北斗,齊藤真美,布尾勝一郎,橋本洋輔,野村愛  
2017年度日本語教育学会春季大会 (早稲田大学) 2017年05月21日 日本語教育学会

専門用語の属性に着目した介護分野の語彙に関する分析 - 学習支援サイト『かいごのご! (仮称)』の開発に向けた調査 -  
野村愛,中川健司,角南北斗,齊藤真美,布尾勝一郎,橋本洋輔  
第19回専門日本語教育学会研究討論会 (横浜国立大学) 2017年03月03日 専門日本語教育学会

ラベル付け作業過程で見られた介護福祉と日本語教育の専門家の視点の異なり - 外国人介護福祉士候補者対象学習支援サイト『かいごのご(仮)』の開発に向けて -  
野村愛,角南北斗,中川健司,布尾勝一郎,宮本秀樹,中村英三  
第24回日本介護福祉学会大会 (長野大学) 2016年09月04日 日本介護福祉学会

The Kanji Learning Website for EPA Care Worker Trainees, "Kaigo-no-Kanji Supporter" (Learning Support for Kanji Vocabulary in Caregiving Field)  
Kenji Nakagawa, Yosuke Hashimoto, Hokuto Sunami, Mami Saito, Katsuichiro Nunoo, Ai Nomura

10th International Language for Specific Purpose Seminar (Universiti Teknologi Malaysia) 2016年07月27日 International Language for Specific Purpose Seminar

Web教材の開発コストとアンペイドワーク  
中川健司,角南北斗,齊藤真美,橋本洋輔  
言語教育の「商品化」と「消費」を考えるシンポジウム IN 香港 2016年07月17日

EPA看護師・介護士候補生を対象とした遠隔教育におけるコメントの役割  
橋本洋輔,佐野ひろみ,中川健司,角南北斗,齊藤真美,布尾勝一郎,野村愛  
2016年度日本語教育学会春季大会 (目白大学) 2016年05月22日 日本語教育学会

ウェブ教材を利用してもらうための環境づくりー『介護の漢字サポーター』『介護のことばサーチ』の実例を基にー  
中川健司,角南北斗,齊藤真美,布尾勝一郎,橋本洋輔,野村愛  
第46回日本語教育方法研究会 (国際交流基金日本語国際センター) 2016年03月19日 日本語教育方法研究会

介護福祉士国家試験のための分野別学習語彙数の考察  
中川健司  
第18回専門日本語教育学研究討論会 (京都産業大学) 2016年03月03日 専門日本語教育学会

福祉分野と日本語教育の協働による介護専門用語集作成の試み  
中村英三,山岸周作,宮本秀樹,中川健司  
第23回日本介護福祉学会大会 (金沢文化ホール) 2015年09月27日 日本介護福祉学会

介護福祉士国家試験で用いられる動詞の様相  
中川健司  
第45回日本語教育方法研究会 (立命館大学) 2015年09月19日

漢字学習ウェブサイト『介護の漢字サポーター』及びそこで扱う語について  
中川健司,角南北斗,齊藤真美,布尾勝一郎,橋本洋輔,野村愛  
2015年度日本語教育学会春季大会(武蔵野大学) 2015年05月31日 日本語教育学会

〔図書〕(計1件)

『外国人介護・看護人材とサステナビリティ:持続可能な移民社会と言語政策』  
中川健司,角南北斗,齊藤真美,布尾勝一郎,橋本洋輔,野村愛  
くろしお出版 2018年3月 ISBN:978-4-87424-7

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
出願年:  
国内外の別:

取得状況(計0件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
取得年:  
国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等  
かいごのご!  
<http://,kggapp.com>,  
介護のことばサーチ  
<http://,kaigo-kotoba.com>,  
介護の漢字サポーター  
<http://,kaigo-kanji.com>,

## 6. 研究組織

### (1) 研究分担者

研究分担者氏名: 中村 英三

ローマ字氏名: (NAKAMURA, eizo)

所属研究機関名: 長野大学

部局名: 社会福祉学部

職名: 教授

研究者番号(8桁): 00549991

研究分担者氏名: 橋本 洋輔

ローマ字氏名: (HASHIMOTO, yosuke)

所属研究機関名: 国際教養大学

部局名: 国際教養学部

職名: 助教

研究者番号(8桁): 30568770

研究分担者氏名：宮本 秀樹  
ローマ字氏名：( MIYAMOTO, hideki )  
所属研究機関名：長野大学  
部局名：社会福祉学部  
職名：教授  
研究者番号（8桁）：40453401

研究分担者氏名：布尾 勝一郎  
ローマ字氏名：( NUNOO, katsuichiro )  
所属研究機関名：佐賀大学  
部局名：国際交流推進センター  
職名：准教授  
研究者番号（8桁）：90448019

研究分担者氏名：野村 愛  
ローマ字氏名：( NOMURA, ai )  
所属研究機関名：首都大学東京  
部局名：人文科学研究科  
職名：客員研究員  
研究者番号（8桁）：90775090

(2)研究協力者  
研究協力者氏名：角南 北斗  
ローマ字氏名：( SUNAMI, hokuto )

研究協力者氏名：齊藤 真美  
ローマ字氏名：( SAITO, mami )

研究協力者氏名：山岸 周作  
ローマ字氏名：( YAMAGISHI, syusaku )

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。